



# 町長のしごと日記

～元気で笑顔のあふれる福島町を実現するために～

【新年度へ向けて・・・】

ひな祭りが過ぎ、少しずつ春の息吹が漂うようになり、厳しかった冬の名残りの雪が、徐々に町から消えようとしております。

いよいよ、私たち日本人が一番好きだと言われている桜の便りが、日本列島を徐々に北上する季節を迎えます。

三月一日（月）に、福島商業高等学校の卒業式にお招きをいただき、出席させていただきました。

今年の卒業式は、新型コロナウイルス感染症の感染防止を考慮し、時間を短縮して行われましたので、いつも祝辞を述べさせていただきます。今回は祝辞を文書で寄稿させていただきました。ぜひ、卒業生の皆様がそれぞれの夢と希望と目標に向かって活躍されることを期待しております。

三月と四月は、小学校・中学校でも卒業式や入学式が行われ、子ども

たちにとっても初めて経験することが多く、同級生や先生方との別れ、新たな友達との出会い、また、思い出との別れの時でもあります。一生のうちでも最も多感な時期でもあります。かつ、一番成長する時でもあります。子どもたちが日々の中で、別れと出会いにより「一期一会」の縁が生まれることを期待しております。

頑張れ、福島の子どもたち、私たちは全力で応援いたします。

三月四日（木）に、福島町自衛隊家族会並びに町の共催による自衛隊入隊予定者激励会が行われました。今年も、例年より入隊者が多く、地元から四名の入隊予定者がありました。陸上自衛隊三名、海上自衛隊一名となっております。

三・二東日本大震災から十年が経過しておりますが、毎年のように繰り返される大きな災害にお

いて各方面で自衛隊の方々が第一線で活躍されております。国防はもとより災害など多岐にわたる活躍を期待しております。

三月八日（月）から議会定例会三月会議が開催されました。

令和三年度の新たな町の予算が審議される大変重要な議会です。

町政の基本方針や主要な施策に关しましては、冒頭の町政執行方針で述べさせていただきます。但し、新年度の予算規模は、四十億八千四百万円となり、昨年度に比べて、三億八千万円の増額となっております。

増額の要因は、今年度から若者や子育て世帯を対象とした、定住向け町有住宅整備事業がスタートすることにより予算額が増額となったものです。

議会の承認をいただいた予算の適正な執行に努めてまいりますので、町民の皆様のご理解とご協

力をお願いいたします。なお、詳しい内容に关しましては、広報の12ページから13ページまでをご確認ください。

「ふくしま歴史物語」の編さんが終了し、一冊の素敵な歴史本が出来上がりました。私たちは先人が築き上げた歴史から学ぶことが多くあります。

子どもからお年寄りまで誰もが見やすく読みやすい本となっております。各家庭へ一冊配布されますので、是非、ご家族で読んで楽しんでください。

これまで、編さんにご尽力いただきました福島町歴史図書編集委員長の中塚徹朗委員長をはじめ編集委員の皆様、そして編さんに携わっていただいたすべての方々に改めて心から感謝申し上げます。

福島町の歴史の宝物として大切に後世へ伝えてまいりたいと、思いをあらたにしております。